



経過 月日 検査	入院日(治療前日) (/)	治療当日(治療前) (/)	(治療後)	退院日 (/)
		治療前に体温・血圧・脈拍を測ります。 内視鏡室へ呼ばれる時間は、治療当日の直前までわかりません。便の状態や、内視鏡室の混雑具合により、お待たせすることがありますのでご了承ください。	病室に帰室後(治療終了後)と治療終了2時間後に、体温・血圧・脈拍・症状などの観察をします。 	
	普段内服しているお薬を確認します。昼食後と21時頃にピコスルファートナトリウム液を半量ずつ内服します。夕食後に下剤(ニフレック)を1L内服します。下剤内服1時間後に夕食後のお薬をお持ちするので、持参のお薬は飲まないでください。	朝6時頃より1Lの下剤(ニフレック)を内服します。約1時間かけて飲んでください。吐き気などがある場合は、無理をせず看護師にご相談ください。☐医師の指示により、下剤(ニフレック)を飲み終えた後1時間後に内服薬()を飲みます。☐内服薬はありません。	夕方からは通常通り内服が開始となります。 	通常通りの内服となります。
		10時頃より点滴を行いますので、その前までに検査着に着替えてください。	点滴は翌朝10時頃まで続きます。	点滴終了後、針を抜きます。
	制限はありません。	治療前の制限はありません。	治療後はトイレまでは歩いて構いません。治療2時間後、体温・血圧・脈拍・症状を観察後、問題がなければ病棟内の歩行が可能です。	
	シャワー浴ができます。化粧やマニキュアは落としてください。			退院後、ご自宅での入浴は可能ですが、熱いお風呂・長風呂は出血しやすくなる恐れがあるので注意してください。 
	入院中、病院食・飴ガム以外の食事は禁止です。夕食後(夜9時以降)の食事は禁止です。飲水は可能です。(お茶・水のみ)	食事は1日禁食となります。治療前までは飴ガム・飲水は可能です。(お茶・水のみ)	治療2時間後、体温・血圧・脈拍・症状観察後、問題がなければ、水分摂取が可能となります。治療後は飴ガムは禁止です。	朝、下血や腹痛がなければ食事再開です。退院後は消化の良いものを食べてください。(食事についての注意点は別紙をお渡しします。)また香辛料・酒・タバコなどの刺激物も避けてください。
	病棟内オリエンテーション、および治療の説明を行います。	下剤内服後、便の状態を確認します。無色透明・残渣物(カス)がなくなったら、治療ができる状態となります。看護師が便の状態を確認しますので、流さずにトイレ内のナースコールを押してください。状態により、医師の指示で浣腸等を行う場合がありますが、その際にご説明します。		退院時に次回の予約表と診察券をお渡しします。退院後は出血するおそれがあるため、お腹に力をつける動作・激しい運動・仕事、遠出や海外旅行も避けてください。 便に血が混ざったり、腹痛などの症状がある場合は病院へご連絡ください。(平日AM12時までは消化器外来へ、その他の時間は救命外来での対応になります。必ず電話をしてから来院するようにお願いいたします。)
	手首にネームバンドを着用します。治療の同意書をお預かりします。	検査室へ行く前までに、入歯・コンタクトレンズ・メガネ・補聴器・指輪・時計・ヘアピン・かつら・湿布などの装飾品はすべて外します。また、検査の直前に青い使い捨て紙パンツを着用します。使い捨て紙パンツは検査室で捨てるので、替えの下着を持っています。検査室へ歩いて行きます。	治療後は看護師が車椅子にてお迎えに行きます。治療後から退院までの間、トイレで血が少しでも便に混ざっていたら、流さずにトイレからナースコールをして看護師を呼んで下さい。	

上記のスケジュールにそっての入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。ご不明な点は遠慮なくお尋ねください。
注)1 入院期間については、現時点で予想されるものです。